

# 学位論文概要「環境情報からのメッセージ」(環境イノベーションマネジメント専攻)

名前	指導教員	論題	論文要約
兵法 彩	本藤 祐樹	産業連関表を用いたバイオマス事業の実用的なライフサイクル評価手法に関する研究	効果的なバイオマス事業の導入促進に資することを目的として、バイオマス事業の事業化プロセスに沿った実用的なライフサイクル評価手法を検討した。国や地域の統計データである産業連関表を活用した手法を提案し、バイオガス発電事業のライフサイクル環境・社会経済影響評価に適用した。提案手法の活用によって、事業導入に伴う影響を的確に理解でき、地域や社会に適した事業システムの設計・改善が可能となる。
蔣 瑜潔	周佐喜和	外部経営資源の活用を通じた後発企業の技術能力構築プロセス:吉利汽車のM&Aと提携を通じた成長戦略	本研究では、中国後発企業が外部経営資源の活用を通じて短期間で達成した技術能力構築プロセスを解明するために、吉利汽車の事例を取り上げ、定性分析を行った。その結果、新たな制約条件を克服して短期間で技術能力を構築するためには、外部経営資源を獲得するための限定された統合マネジメントが有効であること、及び獲得されたそれぞれの経営資源を組織内で伝達して活用するためのコア人材の役割と現場オペレーターの教育方法が重要であることが判明した。
星名 美幸	安藤孝敏	ギアチェンジの時期にあるがん患者の看護のあり方に関する研究 - 病棟看護師と医療専門職者の連携・協働について -	本研究は、入院治療中にギアチェンジの時期を迎えたがん患者にかかわる看護師にフォーカスをあて、他の医療専門職者との連携・協働について実証研究を行った。さらに、ギアチェンジを告げられる前とその後のがん患者の役割の変化についての文献研究から、病棟看護からみた役割理論におけるギアチェンジ期の役割期待に関する概念枠組みを新たに構築した。その結果、ギアチェンジポイントの周辺こそが、看護師と医療専門職者の連携・協働が最も重要な時期であると予測される。
川添 敏弘	安藤 孝敏	重度知的障害を伴う発達障害者の「問題行動」改善を目的とした動物介在介入の試み —行動分析を視点として—	<p>重度知的障害者には、自閉症の特徴的な行動が認められることがある。その行動特性が理解されないことで、暴力行動を含めた「問題行動」が生じる場合がある。動物介在介入では、障害者がイヌに対して自発行動が出現するような関わりをつくっていった。その結果、イヌが存在することで様々な刺激に対応できるようになり「問題行動」が減少していった。</p> <p>本研究では、重度知的障害を伴う発達障害者の「問題行動」へ、これまで報告されていない介入方法を提案することができた。</p>

高橋知也	安藤孝敏	独居高齢者における被援助志向性に関する研究	<p>独居高齢者の持つ被援助志向性に焦点を当てた 5 つの研究を実施し、高齢者における被援助志向性を測定する尺度を作成した。</p> <p>また、独居高齢者における被援助志向性の関連要因の検討を行い、「援助に対する欲求」と「援助に対する抵抗感」の両者に影響を与える要因として、研究Ⅲでは暮らし向き、研究Ⅳでは学歴が認められ、暮らし向きが良いほど、また学歴が高いほど援助に対する欲求と抵抗感の両者を低減させることが示された。</p>
------	------	-----------------------	---